

湧水河川、柿田川の河川生態に関する活動

Activities concerning river ecology in the famous spring river “Kakita river”

水循環・まちづくり・防災グループ 研究員 澤田みつ子
 主席研究員 吉田 邦伸

1. はじめに

令和2年(2020年)1月に始まった新型コロナウイルスの世界的な流行に伴い、令和2年度の柿田川生態系研究会(以下「研究会」という)はオンラインに活動の場を移すこととなった。本記事では、「コロナ時代」における約1年間の活動を報告する。

2. 社会情勢の変遷と研究会の対応

令和2年1月15日に国内で最初の感染確認、3月24日に東京五輪の延期が発表されたことを受け、研究会では3月26日、翌年度5月に予定されていた第37回研究会の会議の延期、及び同時に開催される現地視察会の中止を決定した。

その後、1回目の緊急事態宣言(7都府県)が4月7日に、12月18日静岡県知事による年末年始における県境をまたぐ移動の自粛の呼びかけ、さらに2回目の緊急事態宣言(1都3県)が翌1月7日になされた。その間、研究会では予定していた年間行事(表-1)について中止・延期を余儀なくされた。

表-1 令和2年度 当初予定の年間行事

予定日	内容	対応
5/30	現地視察会 (黄瀬川・芦ノ湖)	中止
5/31	第37回研究会	延期
通年 随時	中高生対象 出前教室	募集中止
10～ 12月頃	第17回柿田川シンポジウム	翌年度へ延期
1/23	第37回研究会(延期後)	再延期(翌年度へ延期)
	現地視察会(柿田川)	中止

※年度当初は、(1)『柿田川生態系研究会』: 柿田川において多面的な研究を行っている研究会と当研究所の意見交換の場を設けて多様な分野における知見を収集(現地視察会を含む)、(2)『柿田川シンポジウム』、(3)『中高生を対象とした出前授業』の開催を予定していた。

3. 研究会 Web サイトでの動画公開

そのような中、オンライン活用による活動の実施として、研究会のWebサイト(http://www.rfc.or.jp/kakita_group.html)において、上空から撮影された柿田川の映像の公開を開始することとなった(令和3年3月31日公開)。

この動画公開は、柿田川研究の広報活動を目的とし、研究会代表の静岡大学加藤憲二名誉教授が国土交通省中部地方整備局沼津河川国道事務所から映像使用の許可を受けて実施した。

公開した映像は、前年度の令和元年に撮影された4月(春)、8月(夏)、12月(秋～冬)の3点である。これらの映像は、湧水が湧き出ている柿田川の「源頭部」から「狩野川との合流点」に至る柿田川の全域の様子をとらえている。

これにより、Webサイト上からドローンで撮影された四季における上空からの柿田川の映像の閲覧が可能となった。

4. 河川生態学術研究会への会員の参加

困難な状況が続く一方で、令和2年度から4年間、柿田川生態系研究会の会員を含む研究者が狩野川・柿田川研究グループとして河川生態学術研究会へ参加することとなった(代表:塚越哲 静岡大学教授)。

5. 令和3年度の活動へ向けて

延期を重ねた第37回研究会については、コロナウイルス感染拡大が続いている状況の収束後にオンラインによる開催の方向で調整中である。研究会では、今後もオンライン活用を含めた活動の実施に取り組んでいきたいと考えている。

<参考文献>

- 1) 柿田川生態系研究会: 柿田川の自然 湧水河川を科学する, ITSC 静岡学術出版事業部, 2010



写真－1 研究会 Web サイトに柿田川の動画を掲載：再生される映像の一例
(映像出典：国土交通省沼津河川国道事務所 令和元年4, 8, 12月撮影)

- 2) 澤田みつ子, 蔭山一人, 舟橋弥生, 太田昌志：柿田川生態系研究会の活動報告, リバーフロント研究所報告, 第29号, pp.15-16, 2018
- 3) 澤田みつ子, 森吉尚, 宮本健也：柿田川生態系研究会の活動報告, リバーフロント研究所報告, 第30号, pp.13-14, 2019
- 4) 澤田みつ子, 森吉尚, 宮本健也：柿田川生態系研究会の活動報告, リバーフロント研究所報告, 第31号, pp.19-20, 2020
- 5) 柿田川生態系研究会ホームページ, http://www.rfc.or.jp/kakita_group.html